

令和6(2024)年度 栃木県浙江省友好交流員レポート(10月分)

栃木県浙江省友好交流員 加藤 かれん

10月は初頭に中国の建国記念日であり大型連休となる国慶節、そして月末には中間テストがありました。先月に比べると生活に余裕も出来てきた為、好奇心を持ってたくさんの場所に出向いたり、交友関係を広げることが出来たと思います。勉学に勤しみ、新たな発見や刺激を通して意義深い一ヶ月であったと感じています。

✿ 10月1日～7日授業は休みであったが、国内の観光地は混雑するため遠出はせずに学校の周辺を散策することにした。お気に入りとなった場所の一つが杭州植物園(入園料10元)。玉泉キャンパスの南門から歩いて行ける。公園内は広く、混雑しないので絶好の散歩スポット。園内に入らなくても散歩を楽しめる場所がたくさんある。

右の竹やぶは園の外。

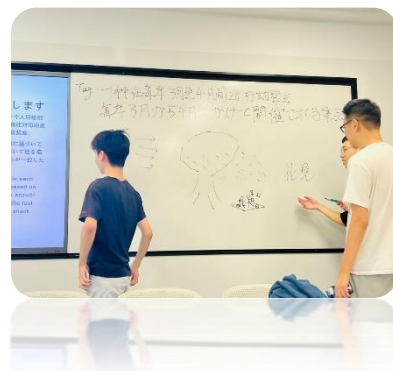
蚊がかなり多いので虫よけスプレー必須。



天目里はアート、デザイン、オフィス、商業スペースを融合させた新しい施設。若者に人気の場所でお洒落なビルが立ち並ぶ。地下鉄に乗り学校から20分弱程度。思わずあ！と声を上げてしまった蔦屋書店には日本の本も沢山並ぶ。



★ 10月18日～20日は3連休となり、中国人と日本人の交流会が18日に紫金港キャンパスで行われたので参加した。日本の文化に関心のある浙江大学の学生や、外部からも多くの中国人が参加していた。日本語が流暢な方も多い。交流会では季節行事に関するクイズを出し合い、非常に盛り上がった。



19日・20日に初めて高铁(新幹線)に乗り、上海に旅行してきた。上海に住む中国人の友人にガイドをしてもらい、観光を楽しんだ。上海の外灘(バンド)は上海を代表する観光スポット。現代的な建物と西洋の建物が立ち並び、異国情緒を感じる。豫園は明の時代に作られた2万平方メートルの庭園。まるで迷路のようであったが、食べ歩きも出来て多くの観光客で賑わっていた。また新天地では、中国にいながらヨーロッパ気分を味わえる。石畳が敷き詰められた道には路面店やカフェが立ち並ぶ。



↓新天地にて



←豫園

↑外灘の川沿い

↓道路沿い

学校から上海までは地下鉄に乘る時間を含め2時間弱。チケット購入はアプリで済ませると当日がスムーズで便利(オンラインで身分登録が必要)。チケット料金は普通車両(二等席)が70元～80元(1500円程度)。高铁に乗車の際、外国人はパスポートが必ず必要となる。電車に乗る時の日本との違いは、セキュリティの厳しさ。地下鉄はパスポート不要だが、毎度荷物検査をしないとイケない。飲料水を携帯している場合は簡単なチェックを受けるか目の前で飲む必要がある。



好吃!



🚌 クラス別の遠足で浙江省湖州市にある古鎮(歴史的な古い小町)、南潯(なんじん)古鎮に訪れた。中国には、歴史的な建物や伝統的な町並みが残る古鎮が各地にある。南潯古鎮は江南六大古鎮の一つに数えられる。水路がとても美しい。担任の先生がガイドをしてくれて、クラス全体の交流を深めることができた。



10月はイベントが多く、楽しく過ごしていく中で発見したことや現地人と話ができる機会が多くあった。また各国の留学生ともたくさん話し、それぞれの留学理由や背景がある中で目標に向かいお互い高め合えた。テスト期間を経てクラスの友人と勉強を一緒にしたり、色々な場所に足を運んだり更に中国に対する理解を深めることができたと思う。来月にはいよいよ冬本番となりそうなので、体調にも留意し過ごしていけたらと思う。



学校前に売っているパンは4元(80円)
←空洞に生地を貼り付け、焼き立てを提供してくれる。胡麻がまぶしてあり、ほんのり甘い。店主が優しい。

